

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	インターンシップB（半期）	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース、俳優コース		開設期	前期若しくは後期
対象年次	2 年次		科目区分	選択		時間数	120時間
単位数	4単位					授業形態	実習
教科書/教材	特になし						
担当教員情報							
担当教員	吉村智樹　村田鉄之　宮下明日香　佐々木彩			実務経験の有無・職種	有　制作、マネジメント		
学習目的							
映画、テレビ、舞台、イベント、ラジオ等、学外の出演を通して実践的な技術や知識仕事に対する姿勢を学び実際に現場で働くということを体験し、どのようなスキルが必要かイメージできるようになり授業で学んだことをどういのか、自身に足りないところをどのように補完するか考えて行動する力を養う。また、インターンシップからデビューにつなげることも意識できるようになる。							
到達目標							
得手不得手を認識し実際に現場に出ることで自分の適性を確認できるようになる。							
教育方法等							
授業概要	映画、テレビ、舞台、イベント、ラジオ等あらゆる声優や俳優が活動し得る媒体で出演する。 著名な演出家や監督作品やオーディションの競争率が高く難関を突破するなど興業的にニーズが高いステージなど出演する演目についてはその都度検討することを原則とする。						
注意点	120時限相当以上に渡り稽古・出演があるものがインターンシップBにあたる。 最近の事例としては、国際親善を趣旨とした渡辺裕之主演、舞台『友情 ～秋桜のバラード～』など20日程度の稽古と9日間　17ステージに出演。 授業時数の4分3以上出席しない者は評価対象とならない。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	レポート	20%	出演に関わるレポート				
	面接	20%	自身の適性についてどの程度確認できたかどうか				
	実習先の評価	60%	作品評価やオーガナイザー評価を反映させる				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	顔合わせ			キャスト内の信頼感を高める			
2回	自己表現			自分が訴えたいことを他者にわかるように工夫する			
3回	相互理解			自分の表現、・他者の表現への検証を行う			
4回	作品研究			作品の読みあわせ、作品解釈等について学習			
5回	読みあわせ			全体で読みあわせを行う			
6回	読みあわせ			全体で読みあわせを行う、自分のチームでの読みあわせ			
7回	読みあわせ			自分のチームでの読みあわせ			
8回	立稽古			荒立稽古を行う			
9回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
10回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
11回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
12回	立稽古			すべての場面の稽古を行う			
13回	立稽古			すべての場面の稽古を行う			
14回	舞台稽古			戯曲を一つの作品としての発表するために必要な要素を総合的に養う			
15回	作品発表			作品発表。全体のまとめ			